

インシデント発生時の対応支援

# インシデントレスポンスサービス

セキュリティインシデントが発生した際、被害の拡大を抑止するためには、  
早急かつ適切な初動対応が不可欠です。

しかし、セキュリティ人財の確保やインシデント対応スキルの欠如が企業にとって課題となっており、  
迅速な対応が難しい場合があります。

インシデントレスポンスサービスは、高度なセキュリティ知識を持つ専門家が、  
お客さまのインシデント対応をサポート。被害拡大の防止を支援します。

## 課題 01

インシデント発生時の  
対応に不安がある



## 課題 02

マルウェアによる  
被害範囲を把握したい



## 課題 03

情報の不正流出が  
ないか調査したい



## インシデント発生時の対策立案から被害状況の調査まで セキュリティエキスパートが支援



### 早急かつ適切な インシデント対応支援

発生した事象がインシデントかどうかの判断や、お客さまの対応体制・暫定対策の確認、今後の対応策の提案など、高度なセキュリティ知識を持ったエキスパートが支援します。



### 原因や被害範囲を エキスパートが特定・調査

感染の可能性がある端末の調査から影響範囲の洗い出しまで支援します。端末にEDRが導入されていない場合でもマルウェアによる侵害状況の調査が可能です。



### 情報流出の痕跡などを 調査・報告

個人情報漏洩や不正アクセスの痕跡などの調査を行います。調査結果の詳細はレポートにまとめ、報告します。



# 特長

## 小規模から大規模問わず 対応可能

従業員端末での内部不正やマルウェア感染から、標的型攻撃などによる複数サーバーの侵害までエキスパートが柔軟に対応。

## 事前のヒアリングに もとづいた効率的な調査

どの調査に重点を置くかをヒアリングすることで、有限な調査時間の中で効率的な調査を実現。

## 主要なOSをカバー

WindowsだけでなくMac、Linuxまで詳細調査（フォレンジック）が可能。

## 調査の流れ（例）

侵害端末特定のため、システム全体に対して調査ツールを実行。  
インシデントの痕跡がある  
侵害端末の特定を試みます。

詳細調査で見つかった脅威が  
他のシステムに存在しないか  
調査します。  
※侵害端末が見つかった場合、  
端末の詳細調査を実施します。

### ヒアリング 調査方法検討

### 全体調査

### 詳細調査

### 全体調査 (同件調査)

### 最終報告 対策提案

インシデント状況や調査で明らかにしたい項目、システム環境などについてヒアリングします。

侵害端末のディスクイメージを  
解析し、深堀調査を行います。

調査結果を報告し、  
今後の対策を提案します。

## 契約形態

### スポット契約

インシデント発生時に都度契約。  
必要な時に、調査内容に応じた契約が可能です。



### 年間契約（リテナー契約）\*

インシデント発生時に迅速に調査を開始。被害対応時間を大幅に削減します。インシデントが発生しなかった場合は、リスク調査の実施も可能です。



\*事前の契約が必要です。

## ご相談先



以下URLより、ご相談内容を登録ください。  
担当者よりご連絡します。

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/cgi-bin/form/security/contact/>



\*本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取  
りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。※本リーフレットの一部は、生成AIにより生成されたコンテンツを使用しています。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ  
[www.hitachi-solutions.co.jp](http://www.hitachi-solutions.co.jp)

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報

[https://www.hitachi-solutions.co.jp/security/sp/solution/task/mdr\\_incident\\_response.html](https://www.hitachi-solutions.co.jp/security/sp/solution/task/mdr_incident_response.html)

